

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号: 8732 東証プライム市場)
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2023年5月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2023年5月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	457	432	500	420	493	468	499	464	575	469	467	571
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	130,806	139,280	141,401	113,223	119,648	128,574	113,350	127,232	107,703	105,841	85,507	111,183
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	348,893	349,810	350,630	351,580	352,358	353,153	354,034	354,921	355,911	357,388	358,445	359,637
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	56,841	56,680	57,597	57,397	58,239	58,842	59,781	58,087	53,578	54,003	54,041	51,650
一般顧客	55,261	55,126	55,939	55,862	56,679	57,382	58,476	56,055	52,006	52,417	52,319	49,931
金融法人 (BtoB)	1,579	1,553	1,658	1,534	1,559	1,459	1,305	2,031	1,572	1,586	1,721	1,718
マネパカード口座数 (単位: 口座)	158,807	158,600	158,387	158,213	158,026	157,844	157,701	157,517	157,440	155,557	155,331	154,837

年 月	2024年3月期											
	2023年									2024年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	503	502										
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,285	85,026										
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	360,441	361,481										
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	52,386	52,333										
一般顧客	50,017	50,108										
金融法人 (BtoB)	2,368	2,224										
マネパカード口座数 (単位: 口座)	154,562	154,386										

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
 5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=136円台前半で取引が始まり、2日にはオーストラリア準備銀行の市場予想に反した利上げにより米金利も上昇し米ドルは137円台後半を付けました。しかし、米3月雇用動態調査(JOLTS)求人数が市場予想を下回ったこと等があり、4日に月中安値となる133円台半ばを付けました。その後の米ドルはじり高の展開となり、15日の米債務上限問題を巡る過度な警戒が和らぎ米長期金利が上昇したことや、18日発表の週間の米新規失業保険申請件数の良好な結果を受けたこと等により138円台後半まで値をのびしました。25日発表の米1~3月期GDP(改定値)や週間の米新規失業保険申請件数などの強い米経済指標の結果を受けたこと等により、30日には月中高値となる140円台後半を付けました。しかし、同日に財務省・日銀・金融庁による「三者会合」を受けて日本政府の介入警戒感から米ドル売りが優勢となり、米ドルは140円台を割り込み、139円台前半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、円に対してはやや方向感を欠く展開となった一方、ドルに対しては下落基調で推移しました。

外国為替相場の変動率は、2022年2月下旬のロシアのウクライナ侵攻以降、高い水準が続いているものの、当月の1日の平均値幅が1.185円(前月は1.269円)に縮小した米ドル/円をはじめ、一部の新興国通貨を除き多くの通貨ペアが前月より縮小したことから、全体として前月を下回りました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の5通貨ペアにて、当社所定の注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭(売買同値)の提示を2022年11月16日より業界初の標準化をいたしております。さらに、5月29日よりパートナーズFXnanoの「米ドル/円」のお取引において、スプレッド「0.0銭(売買同値)」での1回あたりの注文数量を1万通貨から5万通貨まで大幅拡大するキャンペーンを開始しております。

また、ゴールデンマネパタイム(17時から27時まで)におけるスプレッド縮小の取組みも継続して実施しております。「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめとする15通貨ペア以上で、パートナーズFX・パートナーズFXnanoともに業界最狭水準スプレッドの提示を続行しております。その他にも、取引数量に応じたデジタルギフトキャンペーンをはじめ、主要通貨であるユーロ・ポンド・豪ドルの対象通貨ペアでの新規取引数量に応じた最大200万円のキャッシュバックキャンペーン等、様々なキャンペーンを実施しております。

これらの結果、外国為替取引高は、前月比18%増加の850億通貨単位となりました。営業収益は、トレーディング損益が減少したものの、システム関連売上高が増加し、前月と同水準の502百万円となりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分が増加、金融法人分が減少し、全体では前月比53百万円減少の52,333百万円となりました。

当社は2023年3月15日開催の取締役会において以下のとおり配当方針を変更し、配当性向の用途を従前の親会社株主に帰属する当期純利益の30%から50%へと引き上げる決定を行っております。同日付の期末配当予想における2023年3月期の年間配当は1株当たり12.75円となっており、6月開催予定の定時株主総会において期末配当が承認された場合には配当利回りは5.12%となる見込みです。

(注) 配当利回りの計算において使用した株価は、上記方針変更の取締役会決議日である2023年3月15日の東京証券取引所における当社普通株式の終値である249円としております。

以 上